

| | |
|----|--------|
| 全体 | No. 1 |
| 個別 | 001-01 |

平成26年度 [しまづくり戦略本部] 目標の成果

| | |
|----|--------|
| 課名 | 新政策推進課 |
|----|--------|

| No. | 項目 | 域学連携による地域づくりを推進します。 |
|-----|--|---------------------|
| | 1. 組織目標 | |
| | <p>【内容】 大学と地域が連携し、様々な地域課題の解決に向けた実践的な取り組みを進めたり、地域資源を活用した新たな産業や社会の枠組みを創出するなどし、地場産業や観光産業等の活性化を図るとともに、地域づくりを担う人材の育成も努めます。</p> <p>【指標】 ①域学連携地域づくり推進計画の策定 ②域学連携地域づくり実行委員会の開催 1回 ③ワーキングホリデー、中・長期インターン学生の受入 40人 ④島おこし実践塾の開催 1回 30名 ⑤対馬に関する学術研究の奨励（補助金の創設） 4件程度 ⑥活動・滞在拠点の検索と整備計画の検討 1箇所</p> | |
| | 2. 実績（成果） | |
| | <p>①域学連携地域づくり推進計画の策定：平成26年6月 ②域学連携地域づくり実行委員会の開催 委員会：7月30・31日、作業部会：10月19日、11月9日 ③ワーキングホリデー、中・長期インターン学生の受入 ワーキングホリデー 0人、中・長期インターン 10人（のべ374人） フィールド研究 7組 ④島おこし実践塾の開催：平成26年9月1～6日、33名参加（13大学・社会人） ⑤対馬に関する学術研究の奨励（補助金の創設）：補助金交付対象研究7件 ⑥活動・滞在拠点の検索と整備計画の検討 平成27年中に活用可能な施設調査を実施し、施設整備計画を策定する。</p> | |
| | 3. 評価 | ○ |
| | <p>平成26年6月域学連携地域づくり推進計画を策定、計画に基づき様々な取り組みを実施しました。 学生の受入について、ワーキングホリデーの応募がなく、次年度以降の取り組みについて検討することとした。 実行委員会は1回の開催予定であったが、実行委員会等の意見も踏まえ、域学連携事業の円滑な推進と課題整理を含めて、別に作業部会も開催した。</p> | |
| | 4. 今後の展開 | |
| | <p>ワーキングホリデーへの参加者がいなかったことを踏まえ、学生受入プログラムを再度検討します。 また、受入基盤を整備するために、平成27年中に学生の活動・滞在拠点の整備計画を策定し、平成28年度以降、計画的に施設の整備を行います。 対馬に関する学術研究を奨励するため、補助金制度の見直し（拡充）を行います。</p> | |

| | |
|----|--------|
| 全体 | No. 2 |
| 個別 | 001-02 |

平成26年度 [しまづくり戦略本部] 目標の成果

| | |
|----|--------|
| 課名 | 新政策推進課 |
|----|--------|

| No. | 項目 | 情報連携システムを構築します。 |
|-----|---|-----------------|
| | 1. 組織目標 | |
| | <p>【内容】</p> <p>市役所内での情報共有及び市民への情報発信についてマニュアルを作成し、職員への説明会を行い周知徹底することで、より見える市政を目指します。</p> <p>【指標】</p> <p>①情報共有・発信に関するマニュアルの作成 ②マニュアルの職員説明会の実施 6回 ③情報連携システム整備に関する検討及び整備 ただし、システム整備の一部は平成27年度にも実施する。</p> | |
| | 2. 実績(成果) | |
| | <p>①情報共有・発信に関するマニュアルの作成：作成できませんでした。 ②マニュアルの職員説明会の実施：実施していません。 ③情報連携システム整備に関する検討及び整備 担当者会議2回、全職員からの意見徴取1回 対馬市会議システムについては、システム構築について検討</p> | |
| | 3. 評価 | △ |
| | <p>担当者による検討会議を開催したものの、対馬市会議システムの整備検討など、情報連携ツールの方向性が確立できなかったため、マニュアルの完成には至らなかった。</p> | |
| | 4. 今後の展開 | |
| | <p>マニュアルの作成と対馬市会議システムの導入に向け検討を進め、早期に完成・実施を図ることで、市役所の内部の情報共有の徹底と、効果的な情報の発信・運用を行います。</p> | |

| | |
|----|--------|
| 全体 | No.3 |
| 個別 | 001-03 |

平成26年度 [しまづくり戦略本部] 目標の成果

| | |
|----|--------|
| 課名 | 新政策推進課 |
|----|--------|

| No. | 項目 | 異業種が連携した産業振興策を検討します。 |
|-----|---|----------------------|
| | 1. 組織目標 | |
| | <p>【内容】 島内の様々な業種で組織する「異業種連携推進協議会（仮称）」を立ち上げ、異業種が連携した産業の振興策を検討します。</p> <p>【指標】 「異業種連携推進協議会（仮称）」の立ち上げ</p> | |
| | 2. 実績（成果） | |
| | <p>○平成26年7月22日 対馬市異業種間連携交流協議会設立会議 参加組織：農協、森林組合、市内漁協、観光物産協会、建設業協会対馬支部、社会福祉協議会、商工会、長崎県、対馬市 それぞれの業種の強みや課題を共有、連携し、対応策の検討を行うことで、それぞれの業種の発展、ひいては対馬の発展に寄与することを目的とし、任意団体として設立した。</p> <p>○平成26年10月10日 第2回対馬市異業種間連携交流協議会 人口減少対策と対馬島内の燃油価格高騰問題についての協議。</p> <p>○平成27年2月13日 第3回対馬市異業種間連携交流協議会 燃油価格高騰問題、人材確保、人材育成についての協議。</p> <p>○創業支援会議の設置：平成26年10月 構成団体：商工会、農協、森林組合、漁協、十八銀行、親和銀行、長崎大、長崎県立大、慶應義塾大SFC研究所、長崎県、対馬市 創業等を希望する人を、それぞれの強みをいかにしながら連携して支援します。</p> <p>○ワンストップ相談窓口の設置 創業に関する相談窓口を対馬市新政策推進課に一元化しました。</p> | |
| | 3. 評価 | ○ |
| | <p>対馬市異業種間連携交流協議会を設立し、異業種が連携した産業の振興策等について意見を交換しました。 また、市内における新規の創業を推進していくために、「対馬市創業支援会議」を設置しました。</p> | |
| | 4. 今後の展開 | |
| | <p>今後は、協議会を年に3回程度開催し、異業種が連携した産業の振興策を検討します。 また、創業支援会議において、市内における創業の支援を行います。</p> | |

| | |
|----|--------|
| 全体 | No.4 |
| 個別 | 001-04 |

平成26年度 [しまづくり戦略本部] 目標の成果

| | |
|----|--------|
| 課名 | 新政策推進課 |
|----|--------|

| No. | 項 目 | 5つの循環の構築に向け短期計画を明確にします。 |
|-----|------------------|--|
| | 1. 組織目標 | <p>【内容】 「自立するふるさとのしま 対馬」をキャッチフレーズに、「海」「森林」「国際ビジネス」「生ゴミ」「地域コミュニティ」の5つの循環を提唱し、地域資源を活用した産業振興と循環型社会の実現に向けて調査や検討を進めます。 今年度は、各循環の組織されたすべての部会（9部会）において、平成29年度までの3箇年計画を作成し、明確な方向性を定めることとします。</p> <p>【指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・推進本部会議の開催 2回 ・プロジェクト部会（9部会）の開催 随時 ・各部会3箇年計画作成 9部会 |
| | 2. 実績(成果) | <p>○推進本部会議の開催：平成26年4月25日、11月26日 ○プロジェクト部会（9部会）の開催</p> <p>【海の循環】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海洋保護区設定・市場開設部会：6月3日、3月24日 ・塩づくり部会：11月18日 <p>【森林の循環】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森林資源循環活用部会：6月5日 ・国際「水ビジネス」部会：8月7日、2月4日 ・生物多様性保全と集落づくり・人づくり部会：開催なし <p>【国際ビジネスの循環】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森づくり（主伐）海外モデル住宅展示プレカット工場整備部会 5月16日、6月17日、10月15日、1月28日 <p>【生ゴミの循環】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生ゴミ回収、堆肥化、生産物の給食利用部会 5月26日、8月5日、10月28日、2月2日 <p>【地域コミュニティの循環】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康とスポーツ振興部会：5月27日、9月2日、11月11日 ・地域見守り体制整備、地域バス運行部会：6月27日、3月30日 <p>○各部会3箇年計画の作成：9部会全て作成済み</p> |
| | 3. 評価 | ○ |
| | | <p>国際ビジネスの循環では、韓国ソウル市において、対馬産材を一部使用したモデル住宅を建築、展示会などの実施により対馬産材のPRを行いました。 生ゴミの循環では、生ゴミの堆肥化施設を整備しました。生ゴミの回収体制の構築が課題です。 地域コミュニティの循環では、救急車に心電図伝達装置を整備しました。また、温水プールを活用した健康教室を開催しました。</p> |
| | 4. 今後の展開 | <p>5つの循環に「域学連携」を追加し6つの循環とし、更に自立した循環型社会の実現に向け検討を進めていきます。</p> |

| | |
|----|--------|
| 全体 | No. 5 |
| 個別 | 001-05 |

平成26年度 [しまづくり戦略本部] 目標の成果

| | |
|----|------------|
| 課名 | 未来創造・交通政策課 |
|----|------------|

| No. | 項目 | 対馬地域病院（仮称）への交通アクセスを構築します。 |
|-----|---|---------------------------|
| | 1. 組織目標 | |
| | <p>【内容】</p> <p>平成27年春に開設予定である対馬地域病院（仮称）に伴い、新病院へのアクセスを検討し、住民のより良い利便性を確保するための交通ダイヤを構築します。</p> <p>【指標】</p> <p>住民の利便性が向上するよう新病院までの交通体制を構築します。</p> | |
| | 2. 実績（成果） | |
| | <ul style="list-style-type: none"> 平成26年9月に対馬地域新病院（仮称）交通アクセス計画を策定しました。 対馬地域新病院（仮称）交通アクセス検討委員会の開催：4回（平成25年度2回） | |
| | 3. 評価 | ○ |
| | <p>対馬地域新病院（仮称）交通アクセス計画を策定することにより、交通体制を構築するにあたっての問題点、解決方法等が明確となりました。</p> <p>厳原市街地から新病院へのアクセスを1日27便確保すること、尾崎線・竹敷線・昼ヶ浦線の終点を新病院へ変更すること、1日フリーパス券を平日利用可能へと変更すること等を計画しました。</p> | |
| | 4. 今後の展開 | |
| | <p>平成27年度5月以降の利用状況や利用者の意見等を参考にしながら、必要に応じて対馬市地域公共交通活性化協議会で協議を行い、引き続き、更なる利便性の向上を目指します。</p> | |

| | |
|----|--------|
| 全体 | No.6 |
| 個別 | 001-06 |

平成26年度 [しまづくり戦略本部] 目標の成果

| | |
|----|------------|
| 課名 | 未来創造・交通政策課 |
|----|------------|

| No. | 項目 | エネルギーに関するマスタープランの策定を進めます。 |
|-----|---|--|
| | 1. 組織目標 | |
| | <p>【内容】</p> <p>近年、再生可能エネルギーが大きな注目を集めているが、天候などの自然に左右される不安定なエネルギーであり、系統の安定性に影響を与えやすいなどの技術的課題があり、対馬においてはすでに導入に一定の制約が生じている。このような状況にある中、化石燃料に過度に依存しない、安心・快適で豊かな「次世代型・エネルギー自立の島」を実現するため、対馬におけるエネルギー供給体制の在り方についてマスタープランの策定を行う。</p> <p>【指標】</p> | |
| | 2. 実績(成果) | |
| | | <p>エネルギー自給率の向上に向け、LED照明の導入推進を中心とした省エネ化や木質バイオマスを中心としたエネルギー供給、輸送用燃料や電気エネルギー貯蔵の視点から水素エネルギー利用の可能性について検討し、「対馬市エネルギーマスタープラン」として取りまとめました。</p> |
| | 3. 評価 | ○ |
| | | <p>各種再生可能エネルギーの導入に係る可能性を検討する中で問題点やコストなどを把握することができました。</p> <p>再生可能エネルギーの導入には、未だコスト面や安定性の問題などから種々の課題がありますが、今後、対馬のエネルギー自給率向上に向けた構想を取りまとめることができたため、その方向性を示すことができました。</p> |
| | 4. 今後の展開 | |
| | | <p>電気エネルギーについては、対馬の系統の脆弱性の問題から導入には様々な制約が生じていますが、検討された木質バイオマス発電や熱供給など安定的なエネルギー供給が可能なものから、導入に係る費用対効果を勘案し順次導入を図っていきます。</p> |